

節目の年、特別なセレモニーをこの町で

福智町合併5周年記念式典

—— 明るい未来へ、さらなる飛躍をめざして ——

期日

11月3日 祝日 [文化の日]



時間

8:30 開場 / 9:00 開式

入場料

無料 (座席数366席) ※ 入場は来賓・招待者を除き先着順です。

会場

福智町地域交流センター (福智町伊方4480番地1)

内容

- 方城中吹奏楽部オープニング演奏
- 観光大使任命式 (IKKOさん)
- 福智町「町民のことば」発表
- 記念講演

演題 「住民の主体形成と新たなまちづくりへの期待」

講師 筑紫女学園大学 山崎 安則 教授

● 講師プロフィール

実践理念に基づく調査分析を通して、地域福祉活動計画をはじめ、小地域ネットワーク活動や障害児(者)の地域生活移行・支援などの研究や実践を展開。「福祉コミュニティづくりの今日的課題と展望」など著書・論文多数。



問合せ先

役場 総務課 庶務係 ☎ 22-0555

方城伊方大橋

完成記念式典

大正4年からの歴史を持つまちと人をつないできた伊方橋。その掛け替え工事がまもなく完了、新しい橋が開通します。

期日

11月27日 日

時間

10:00 開式

会場

方城伊方大橋橋上

内容

- 完成記念式典 (テープカット)
- 方城和太鼓クラブ演奏
- 参加者全員で渡り初め

☎ 役場 建設課 土木係 ☎ 22-7765



← 車道が広がり、歩道も設置。



町長日誌

▼ 誰でも、一度や二度心が折れそうになったことがあると思う。その時、気持ちの整理がつかずに精神的に落ち込んでしまう人と、自己を見失わず楽天的に乗り越えてしまう人に分かれるのは、現実が示している通りである。持って生まれた性格に左右される部分があるのかも知れないが、二者択一で言えば、すべての人に後者の道を進んでほしいと願うのは、言葉を俟たないところであろう。そうなるためには、どうすればいいのか—— 管見で恐縮だが、少し述べてみたい▼ わたしたちは好むと好まざるとにかかわらず、他者との共存の中で生きていかなければならないのだから、対人関係における免疫を身につけることが必要になってくる。自己変革のチャンスにするんだという明確な意識のもとに、より多くの場面に自らを置く積み重ねが、きつと有効な手段となるはずだ。性格や考えも異なる人との出会いを数多くつくることによって、多面的かつ客観的に判断できる力が養われるものと信じている。また、自身を取り巻く状況に、後ろ向きな思いや悲観的な感情を抱くのではなく、「人事を尽くして天命を待つ」というくらい、泰然とした姿勢が望まれる。こうした思考回路の体得は、ストレスの緩和にも効果があるのではないだろうか。是非、継続して実行していただきたい▼ 結びに、元WB A世界スーパースター級王者・徳山昌守氏の造語である「道険笑歩」を紹介して筆を置くことにする。「道は険しくても笑って歩く」

—— まさに、打たれ強い人のことばである。

浦田 弘二